

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和 4 年 7 月 29 日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	研究会	行事番号	220003164 (現地開催)	
開催日	令和 4 年 7 月 9 日 (土)～ 令和 4 年 7 月 9 日 (土)			
時間	開始	15:00	終了	17:30
場所	アーバンネット名古屋ビル 20F リップルスクエア			
テーマ	「輸血の教育方法を考える～新人技師から他職種まで～」			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	藤田医科大学 松浦 秀哲			
講師	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新人教育の仕方と工夫 川谷豊田総合病院 磯部 勇太 2. 質の高い部内教育の実践を目指して 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 二村 亜子 3. 他職種に向けての教育活動 名古屋市立大学病院 南里 隆憲 			
内容	<p>輸血の安全性を高めるためには知識や技術を共有し、スキルアップを図る必要がある。そのためには教育活動が重要であり、新人技師や異動技師のみならず、部門内、他職種を含む輸血医療に関わる全てのスタッフが教育の対象となる。</p> <p>磯部技師からは新人教育を中心にご講演頂いた。効率的に新人指導を行うため、業務内容を明確にし、それを体系的にチェックする運用の紹介があった。基本的な事項に絞り込んで教育を実施することで短期間での教育を実践していることが紹介された。</p> <p>二村技師からは質の高い部内教育を目指しての取り組みを紹介頂いた。部内での知識の共有や最新の知見を取り込むための抄読会の開催など聴講者にとって有益な情報が提示された。</p> <p>南里技師には他職種を対象とした教育活動についてご講演頂いた。輸血チーム医療に関する指針の概略と成り立ちの経緯についてご解説頂いた。その上で、他職種にどのように教育を施すのかを具体例を挙げながら解説があった。</p> <p>どの講演も参考になる情報が多くとても有意義であったとの感想が聞かれた。</p>			
参加者	総数：22 名 (会員 22 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名)			
共催、後援など	なし			

2022.7.29

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和 4 年 7 月 29 日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	研究会	行事番号	220003175(web)	
開催日	令和 4 年 7 月 9 日 (土)～ 令和 4 年 7 月 9 日 (土)			
時 間	開 始	15:00	終 了	17:30
場 所	Web 配信(ライブ配信)			
テーマ	「輸血の教育方法を考える～新人技師から他職種まで～」			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司 会	藤田医科大学 松浦 秀哲			
講 師	1. 新人教育の仕方と工夫 刈谷豊田総合病院 磯部 勇太 2. 質の高い部内教育の実践を目指して 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院 二村 亜子 3. 他職種に向けての教育活動 名古屋市立大学病院 南里 隆憲			
内 容	<p>輸血の安全性を高めるためには知識や技術を共有し、スキルアップを図る必要がある。そのためには教育活動が重要であり、新人技師や異動技師のみならず、部門内、他職種を含む輸血医療に関わる全てのスタッフが教育の対象となる。</p> <p>磯部技師からは新人教育を中心にご講演頂いた。効率的に新人指導を行うため、業務内容を明確にし、それを体系的にチェックする運用の紹介があった。基本的な事項に絞り込んで教育を実施することで短期間での教育を実践していることが紹介された。</p> <p>二村技師からは質の高い部内教育を目指しての取り組みを紹介頂いた。部内での知識の共有や最新の知見を取り込むための抄読会の開催など聴講者にとって有益な情報が提示された。</p> <p>南里技師には他職種を対象とした教育活動についてご講演頂いた。輸血チーム医療に関する指針の概略と成り立ちの経緯についてご解説頂いた。その上で、他職種にどのように教育を施すのかを具体例を挙げながら解説があった。</p> <p>どの講演も参考になる情報が多くとても有意義であったとの感想が聞かれた。</p>			
参加者	総数：132 名（会員 76 名、県外会員 54 名、非会員 0 名、賛助会員 2 名、学生 0 名、その他 0 名）（レポート提出 97 名）			
共催、後援など	なし			

2022.7.29